

# 交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	人文学部法律経済学科
学年(出発時)	3年
大学名	ハイデルベルク大学
国	ドイツ
留学期間	2018年 9月 2日 ~ 2019年 2月 28日
派遣先での身分	

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	
9:00	授業
10:00	授業
11:00	授業
12:00	昼食
13:00	タンデム
14:00	
15:00	
16:00	授業
17:00	夕食
18:00	
19:00	帰宅
20:00	
21:00	
22:00	
23:00	
0:00	

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
Full-time German language course	20時間	20	ドイツ語(英語)	单元ごとのテストのみ
Englisch Brückenkurs I	180分	4	英語	プレゼンテーション、試験

大学のサポート	
チューターの有無	有
チューターのサポート内容	銀行口座開設、ビザ申請など諸手続き
語学コースの有無	有
コース名、料金、期間等	Full-time German language course (無料)

生活	
住居のタイプ	女子寮
住居の名前	Fremerey-Haus
部屋タイプ	ワンルーム(キッチン、風呂、トイレなし)
ルームメイト(国籍)	ドイツ、イタリア、トルコ、タイ、日本など
室内設備	ベッド、棚、クローゼット、机、椅子
共用施設	シャワー室・トイレ(各階ごと)、キッチン(全員で一つ)
インターネット設備	なし
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	徒歩10分
アルバイトの有無	無
アルバイトの内容	

渡航	
Visaの種類	学生ビザ
Visa申請先	ハイデルベルグの外国人局 (Ausländerbehörde)
Visa取得にかかった日数	二週間程度
Visa取得にかかった費用	75ユーロ
Visa取得方法、提出書類等	住民登録証、入学許可証、保険の加入証明、閉鎖口座の書類、写真、申請書を提出後2週間程度で発行される
留学先大学の最寄り空港までの経路	電車:ハイデルベルク中央駅からマンハイムへ行き、マンハイムからICEに乗り空港駅へ バス:ハイデルベルク中央駅からFlixbus、またはハイデルベルクからルフトハンザシャトルを利用
渡航費用	約15万円
ピックアップサービスの有無	無

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	無
有る場合、その理由	
就職活動開始時期	2019年3月～
帰国後の進路	卒業後就職

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	125円～133円
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	月90ユーロ
学費(教科書代や語学コース授業料等)	教科書代 80ユーロ、語学コース(英語)100ユーロ
宿舍費(月額)	193ユーロ
光熱費(月額)	なし
食費(月額)	2～3万円
その他	
留学期間中にかかった費用の合計	100万円程度

**感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)**

私の留学生活はトラブルに満ちたものでした。旅行先のベルギーではパスポート財布を含む全荷物を置き引きに遭ったり、ギリシャの地下鉄では財布をスリに盗まれ、寮内では食べ物を盗まれ続けるなど日本では考えられないようなことばかり起きました。小さな問題で言えば目を怪我して病院にも行ったり、ハンガリーのスーパーで鉄のポールが目の前に落ちてくるなどがありました。他にも、人に言いたくないような失敗談を数多く作りました。語学については、ドイツ語を1年の時に1年間履修した後、何も勉強をしていない状態でいったため、9月の準備コースではA1-1、10月からの語学コースではA1+のクラスに所属していました。10月のコースではA1の教科書を終らせた後、A2の教科書を半分まで終らせたため、初級文法はほぼ網羅できたと思います。また、会話練習の多いクラスだったため、クラスのレベルは低かったもののある程度会話ができるレベルまではドイツ語を習得できました。9月のコースも10月からのコースも日本人のいないクラスにいたため意思疎通のほとんどは英語でしていました。また10月からのクラスでは、クラスメートの半分がラテンアメリカ出身でスペイン語話者だったためクラスでは英語よりスペイン語が飛び交っていました。授業中に先生がスペイン語で説明を始めるなどはじめは困惑することが多かった気がします。他のクラスメートもアフリカ人が多く、自分以外全員スペイン語か英語のネイティブでした。授業以外では、日本語学科のバディーとハイデルベルク大学のバディー、日本語学科のタンデムの方と定期的に出てタンデムをしていました。ドイツに留学していましたが、どちらかというドイツ人以外と関わる機会のほうが多かったと思います。ルーマニア人のバディーからルーマニアの文化や政治について聞いたり、クラスではアフリカや中南米、トルコの情勢について聞いたり、クラスメートが主催するラテン系しかいないホームパーティーに何度も行くなど、面白い経験をすることができました。半年間で様々なトラブルが起きましたが、それ以上にかげがえのない経験ができました。また、トラブルはもちろん様々な国の人と関わる中で自分自身も成長できたと思います。語学だけでなく自分自身を見つめ直す機会を得たことがこの留学における最大の収穫だと思います。

**今後留学する人へのアドバイス**

・スマートフォン>パスポート>財布 :何があってもスマートフォンだけは盗まれないようにしたほうがいい  
・一番下のクラスになると、英語やスペイン語で授業が行われたり、クラスメートが全くドイツ語を話さない場合があるため、ドイツ語をしっかり学びたい場合はある程度勉強してから行ったほうがいい  
・どんな状況にあっても嘆くのではなく自分を適応させる  
・自分の安全を確保できる範囲で積極的に楽しむ  
・何事もやりすぎは良くない、加減が大事

報告書記入日

2019年3月7日